

## シベリアからやってきたおばけ蛾のピクニック

### 1. 準備

ある敷地内に線を引いてスペース(およそ15m×15m)を作る。あるいは、すでにその広さに区切られているスペースを利用してもよい。

二人をシベリア蛾の幼虫として選ぶ。

残りの人たちはすべて木となり、おばけ蛾から逃げるために自由に走り回ることができるが、敷地を区切る境界線の外に出てはいけない。

### 2. ゲーム開始

二人のシベリア蛾の幼虫が手をつないだ状態で木がいるスペース内に入り、木を追いかけ始める。手をつないでいない方の手で木を追いかける。シベリア蛾に捕まった木はその場で死に、その後、幼虫の仲間になる。新しく加わった仲間と手をつなぎ、幼虫たちは一列に並んで飛び回り、残りの木たちを追いかける。幼虫の列の両端の二人だけが木を捕まえられる。

列が長くなればなるほど幼虫は広範囲を移動できるので、最終的にはすべての木が捕らえられてしまうことになる。

### 3. 体験の考察1.

下記の点について、グループで話し合う。

- ・ なぜ、シベリア蛾の幼虫はそこまで破壊的なのか。
- ・ 幼虫がこのまま防除されなかったら何が起るか。

(幼虫を捕食する動物、あるいは人間による防除が欠けていた、という答えが返ってくるだろう。)

幼虫の防除手段にはどんなものがあるか、グループに質問する。以下の答えが予測される。

- ・ 物理的除去
- ・ フェロモンでおびき出して捕獲
- ・ 殺虫剤

### 4. ゲーム再開

上記の一つの防除手段を取り入れ、再びゲームを始める。まず、「防除」役になる人を選ぶ。その人は境界線の外側を走り回り、ある所定の位置から境界線内に入る。そして、幼虫たちの数を減らしていく。

物理的除去      幼虫を捕まえる。捕まった幼虫は木となる。

おびき出し      境界線内に白い小さな目印となるものを置く。幼虫がその目印の上にとまったり、あるいは飛び越えたら、その幼虫は捕えられる。捕えられた幼虫は木となり、再びゲームに参加する。

殺虫剤            木の役の人の腕に小さなバンドを巻く。このバンドには木が幼虫に食べられるのを防ぐ効果がある。

5分経過したらゲームを終了し、導入した防除手段の効果を確認する。次に二つ目の手段でゲームを再開し、終了後に効果を確認。最後に三つ目の手段でゲームを繰り返す。

## 5. 体験の考察2.

下記の点について、再度、グループで話し合う。

- ・ 物理的除去、おびき出し、殺虫剤はそれぞれどんな役割を果たすか。
- ・ 境界線の外側を走ると、どれだけのエネルギーが増えるか。
- ・ この役割は必要か？必要ならその理由は？
- ・ 導入種によって、私たちはどんな問題に直面するか？